

2016・5・31

# かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園  
平和学園小学校  
2015年度 学校だより 第3号  
〒253-0031  
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2  
Phone 0467-87-1662/ 0131  
Fax 0467-87-0411  
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

## 年間聖句 (2016年度)

このようにしてキリストに仕える人は、神に喜ばれ、人々に信頼されます。  
ローマの信徒への手紙 14章18節

## 居場所

校長 橋 明子

一学期が始まると平和学園小学校の子どもたちは、5月に行われる自然教室の準備に入ります。入学した1年生にとっては初めての宿泊行事です。どんなことが行われるのか不安や楽しみが交差していたことでしょう。2年生は一年前に経験はしているけれど、縦割りグループで準備をしていくのは初めてのことなので、ドキドキしながらの参加だったのではないかと思います。今年度の自然教室は、山中湖につくまでの間、天候が不順でしたから、プログラムがスムーズにいくか心配でした。しかし、6年生のリードがあり、5年生も与えられた役割に責任をもって頑張っていました。縦割りのグループ、学年のつながりが上手く働いていたように思います。そして、一人ひとりが様々な経験を通して、交友(信頼)を深め、実りの多い時を過ごして帰ってきました。

緑の多い自然の中に自分の身を置いて深呼吸をすると、たくさんの命の声が聞こえてきます。小鳥のさえずり、草花の呼吸、木々の息、澄んだ空気の緊張感のある音、湖から聞こえる命の声など。きっと子どもたちの心の中に、何かが生まれたことでしょう。自然教室に出かけることは、神さまが創られたこの自然の中で、ともに生きる喜びや、命の尊さも学ぶ機会が与えられています。仲間と一緒に過ごすこの宿泊行事は子どもたちの内側がたくましく育ち、自立(律)に向かって大きく一歩成長する時だと考えています。子どもたちの様子を見守ってくださる保護者の方々に感謝しています。

5月19日(木)の礼拝で大澤先生は「誰のためにも居場所を備えてくださる神さま」とお話してくださ

いました。創世記1章に書かれている、神さまが大空を造られたことのお話でした。水を天と下に分けられその間を私たちの居場所としてくださったと。そして、「私たちも誰かのために場所をつくれたらいいね」とおっしゃいました。私たちの生活の中で忘れがちなこと、誰かのために・・・いつも自分のことを先に考えてしまう私たちだけれど、誰かのことを心に留めて、誰かのために場所を作る。平和への第一歩のような気がします。まず自分から、一歩踏み出し、ともに生きる仲間のことを心に留めていきましょう。大自然と向き合ってきた平和学園の子どもたちの心の中には、きっと誰かのことを心に留めていると信じています。平和を創り出す一人として成長していくことを期待して。

